

# ビンボウリング

ビンボウリングは、ピンの配列を工夫(横列)し、簡便化したもので、その名の通りピンにボールが当たると豆がはじけるように反転したり、自動的に戻る(リバウンド)ようになっています。

コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、老若男女だれでも楽しめることから、このニュースポーツに注目が集まっています。

## 使用道具

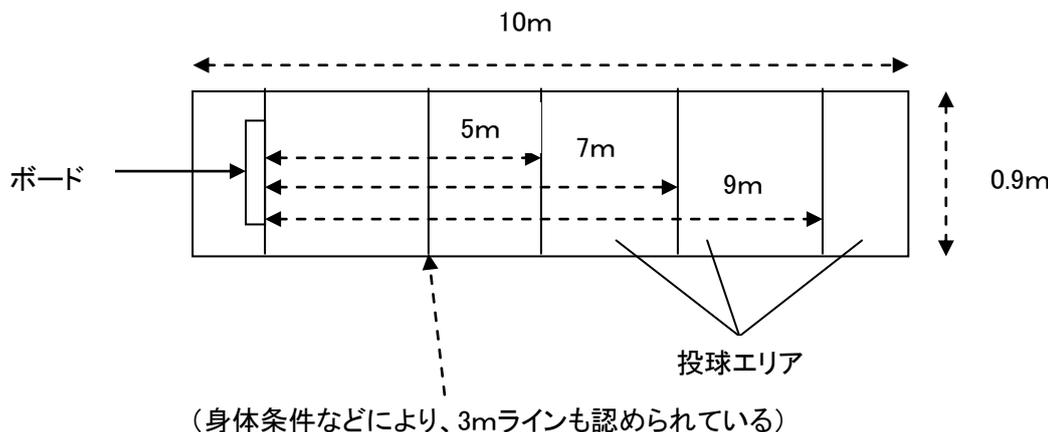
ビンボウリングセット(ピンセット 1、ボール4)専用レーン(0.91m×10m)

## 人数

シングルス(1対1)、ダブルス(2対2)。10名(5対5)の団体戦もできる。

## 場所

0.91m×10mのレーンの取れる平らなところ(体育館等)



## ゲームの進め方

まず、じゃんけんによって先攻(赤)と後攻(白)を決め、主審のコールにより、プレー開始。

先攻プレイヤーは赤2個のボールを持ち、ピンに向かって1球目を転がす。1球目のボールが当たって反転したピンはそのままの状態、プレイヤーは続けて2球目を投げる。2球投げ終わって反転しているピンにある数字を数え、その合計が得点となり、先行側(赤)の1フレーム終了。続いてプレーは後攻(白)に移り、同様に2球投げてプレーを進めていく。

ただし、反転後にリバウンドし、元に戻ったピンは得点として加算されない(ガター)。

投球ラインからピンまでの距離は、5m、7m、9mで、この3つの投球ラインから3フレームずつ、すなわち9フレーム投げて1回のゲームとなる。シングルス、ダブルスとも同様であるが、申し合わせ事項にもうけて9フレームとも投球距離を等距離にしてもよい。

## 反則

投球動作中の反則(ファール)。以下の場合、ファールとなり、取得した得点は無効、投順は次投者に移る。

- 1、投球動作中に投球ラインを踏んだり、越えたりした場合。
- 2、投球後、足が投球ラインから出てしまった場合。ただし、投球ラインから手が出ていてもかまわない。
- 3、投球中手から離れ、投球エリア内に落ちたボールが投球エリアの外に出た場合。

## 勝敗の決定

9本のピンのうち、中央にある“S”表示のピンはストライクピンと呼び、最初の投球で反転した場合は、20点(ストライク)となる。また2投目でストライクピンを反転した場合はスペア扱いとなり、10点の得点になる。したがって、1投目にストライクピンが反転し、2投目で5の表示ピンが反転した場合の1フレームの得点は25点となる。ストライクやスペアを取っても次のフレームには加算されず、1フレームずつの得点を合計して競い合うところが、一般のボウリングとは異なるところです。



## スコアカードの使い方・事例とスコアカード

Bean Bowling 投球距離		5m			7m			9m			合計
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	
使用ボール[赤色] チーム名	1投目	2	▲	3	5	5	▲	8	▲	5	98
	2投目	3	2	▲	5	▲	0	—	0	0	
	合計	5	22	13	10	15	0	8	20	5	

★反転したが  
元に戻った

☆複数のピンが反転した場合は、反転したピン全てが得点となる。

ストライク…20点

スペア…10点

ファール

★1投目で反転したピンはそのまま残り、2投目を投げる。